

6月は衝突海難が多発します

漁船の乗組員のみなさん！

漁場の探索、帰港中など**見張り**がおろそかになりがちです。
接近する船舶を認めた場合、継続的な動静把握、
適切な回避動作をとりましょう。



衝突海難事例

令和2年5月31日、青森県の漁港沖で漁船（4.92トⁿ・乗員2名）とミニボート（ゴム製・乗員2名）が衝突しました。ミニボートは、転覆はしなかったものの、負傷した1名が、ドクターヘリにて青森市内の病院に搬送されました。



ミニボート船長

衝突前に漁船の存在に気づき、回避動作を取ったが間に合わず、衝突してしまいました。

対策

見張りはもちろん、旗やレーダーリフレクターを掲揚するなど他船から見えやすい工夫も必要です。

事故が起きた原因は？

漁船船長は、養殖施設やブイばかりを見ていて、周囲の見張りをせず**漫然と航行**したことが原因でした。



他船との衝突を回避するためには、特定の方向や物だけでなく、目視やレーダー等を使用した**全周囲の見張り**を**徹底**するべきでした。

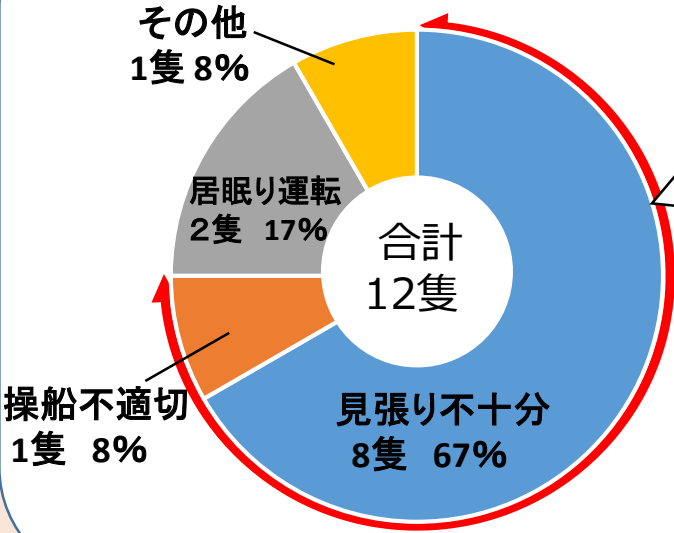


衝突海難の発生状況

6月～8月は、衝突海難が高まる時期ですので、見張りの徹底を心がけましょう！特に、この時期は霧による視界不良となりますので、注意が必要です。



6月～8月発生の
漁船衝突海難の主原因（H28～R2）



「※わき見運転」
「漁具の手入れ」などの
ながら操船

が多く占めています。

※ わき見運転とは、携帯電話や魚群探知機を見ながら操船し、周囲の状況を見ていないことを言います。

衝突海難防止対策



常に見張りの徹底を

操業中は作業に没頭し、**見張りがおろそか**になりがちです。
常に**適切な見張り**を行いましょう。

居眠りに注意

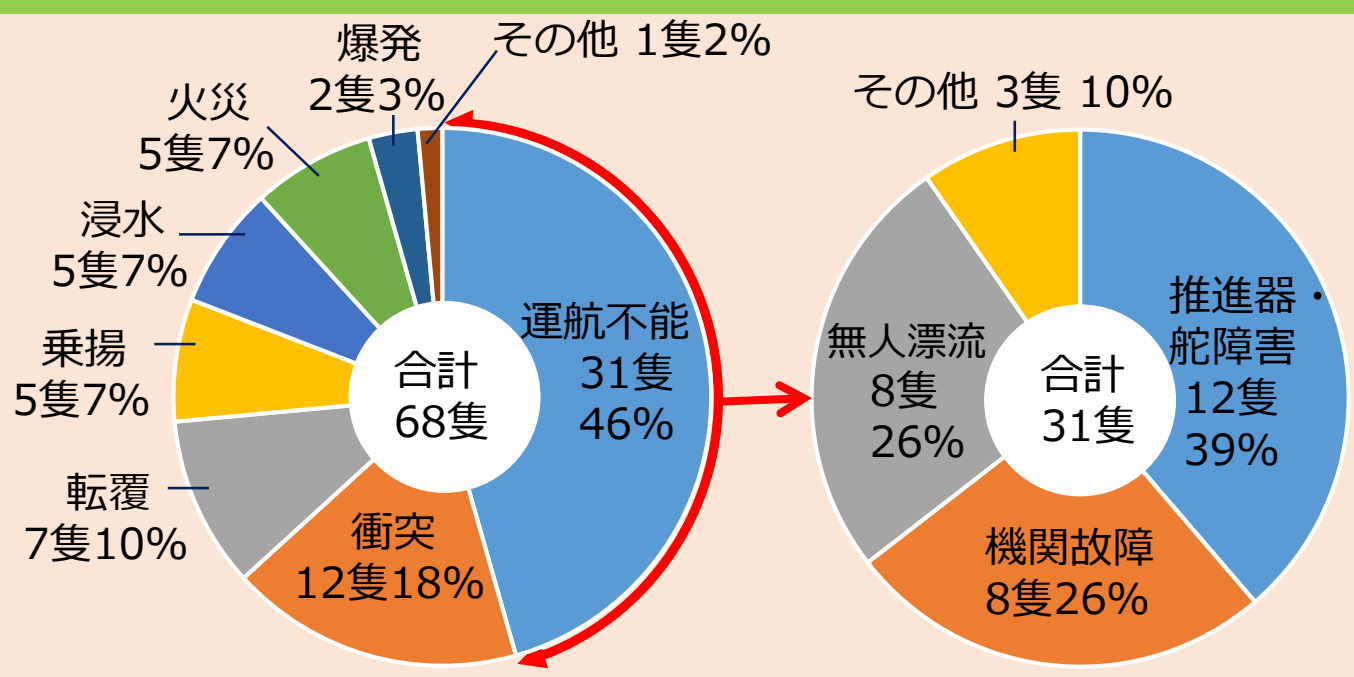
操業後の疲労により、航行中は**居眠りに陥りやす**くなります。
乗組員が2人以上の場合は見張りを**交代し休息を取る**、**居眠り防止装置を使用**するなどの対策を講じましょう。

自動操舵使用時は注意

漁船海難の特徴の1つとして「**自動操舵**」使用時の**事故**が挙げられます。
次のような場合は、**手動操舵**に切換え、安全に航行しましょう。

- ① 港内・漁港内
- ② 航行船舶が多い海域
- ③ 荒天時や視界不良時
- ④ 周囲に浅瀬等がある海域
- ⑤ 潮流が強い狭水道
- ⑥ 他船が接近しているとき
- ⑦ 針路を変えるとき

東北地方の夏季期間(6月～8月)における漁船海難は、衝突、推進器・舵障害が最も多くなっています。 【平成28年～令和2年】



推進器・舵障害の対象物の8割は漁網です。沿岸部には、海苔網・養殖筏・定置網など多数の漁具が設置されています。航行する予定の海域の情報を事前に調べておくようにしましょう！

また、漁網やロープ等が脱落して流れている場合があるので、推進器等に巻きつけてしまわないように、**しっかり見張りをしましょう!!**

- ### 推進器・舵障害の主原因
- ・ 操船不適切
 - ・ 船位不確認
 - ・ 見張り不十分
 - ・ 船体機器整備不良



普段航行している海域であっても事前に

- ・ **水路情報** の確認
- ・ **漁業施設** の設置状況

を確認しましょう!!

令和3年 東北地方 漁船事故発生状況(4月末現在)

青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
2隻	1隻	2隻	0隻	1隻	3隻

死者・行方不明者数：1人

海の事故ゼロキャンペーン

※海の事故ゼロキャンペーンとは、皆様に海難防止について感心を深めていただき、海難の未然防止を図るための運動です。

～ 命を守るため、 海難ゼロにするための 3つのお願い ～



1 ライフジャケットの常時着用等自己救命策の確保

(ライフジャケットの常時着用・連絡手段の確保・118番通報)

※平成30年2月1日から、原則、小型船舶の船室外に乗船するすべての者に国の安全基準への適合が確認されたライフジャケットを着用させることが、船長の義務となっています。

2 発航前等の点検の徹底 (発航前検査と業者等による定期検査)



3 見張りの徹底

(手動・自動操舵にかかわらず、見張りの励行)

※複数名で乗船している場合、他乗船者にも見張りを手伝ってもらいましょう。

熱中症にご注意を!!

熱中症に伴う海難が過去 **5** 年間で **7** 件発生しています!!

これから夏場にかけて、日中の気温が高くなってきて

熱中症・脱水症状に陥りやすくなります。服装や作業時間に気をつけ、こまめな水分・塩分の補給、休憩を心がけましょう。



第二管区海上保安本部 海の安全推進室

宮城県塩釜市貞山通3-4-1
(代表) 022-363-0111
(直通) 022-365-9609

🔍 漁船かわら版

検索